

東地区 町会連合会

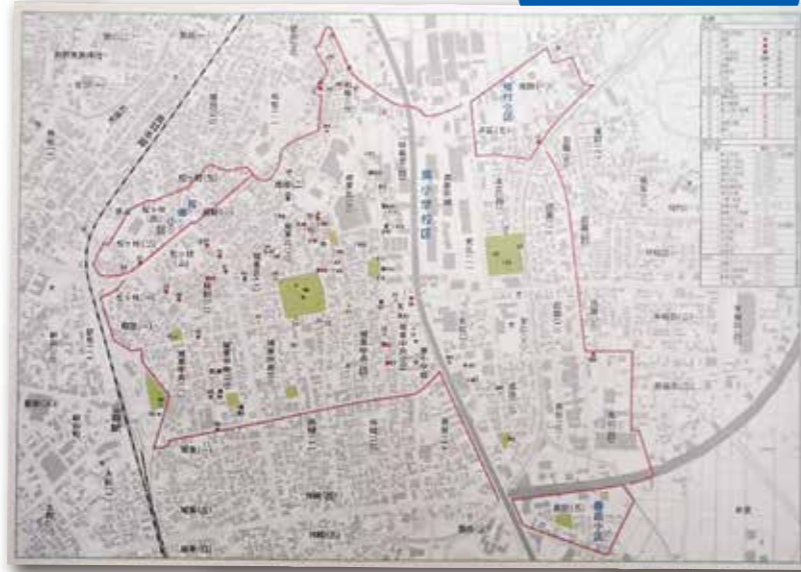
団体の概要

地区内12町会長及び交通安全関係や防犯関係の団体で構成されています。

主な活動内容

○地域内の交通安全啓発活動や防犯を目的として、各町会で見回りを行い、通学路の危険箇所の確認を行っており、近年では子どもを狙った犯罪も増加していることから、子どもの意見を取り入れ、地域内における危険箇所の確認を行い、確認箇所を記入した地域安全マップを作成し、作成したマップを小学校や地区内に全戸配布することで、防犯などの意識向上に努めています。

安全マップの作成



活動を進めるポイント

○活動を継続していくためには、いかにして一人でも多くの地域住民の活動に対する主旨の理解と協力が得られるかが鍵であり、この原点こそが、次の持続可能な確かな実践活動に結びつくのではないかと考えます。そのため、町会活動や諸会議を通して啓発・広報活動を実践し、人と人とのつながりを大事にし、輪を広げて一人でも多くの賛同者や協力者が得られるように努めています。

続けるポイント

○活動の必要性を絶えず行動や言動を通じて地域住民に対し伝え、啓発していくことで、一人より二人、二人より三人と仲間を増やしていくことができればと思っています。
また、情報交換を重ねることで、町内会長等から「地域活動をより良いものにしていきたい」との意見が多く出るようになりました。

地域住民の情報交換の場



広げるポイント

○まずは、地域会議や町会会議等や町会ニュース等を利用し、住民に啓発・広報活動を積極的に行うことで、徐々にでも地域の安全・安心活動に関心を持ってもらうことが大事だと考えます。また、活動に参加することによって、参加者同士のつながりができ、活動の輪が広がることが期待できます。

地域住民の情報交換の場



今後の課題や抱負

○今後も地域における賛同者や協力者を増やし、点から面への活動を広げていくことが重要であると考え、今回の安全・安心事業の受託を契機に、地域に目覚め、住みよい地域にしていこうという地道な活動に、一人でも多くの子どもから大人の理解と協力を得て、実践活動の輪を広げていくために努力したいと思っています。

危険箇所等の点検

